

情報公開用文書(附属病院で実施する医学系研究)

(多施設共同研究用)

西暦 2021年 2月 22日作成 第1版

研究課題名	AIを利用したパラメーターによる胆管閉塞が示唆される症例における良悪性診断
研究の対象	2015年4月から2020年8月までの期間に、横浜市立大学附属病院においてCT施行時に閉塞性黄疸など遠位胆管閉塞を疑った20歳以上の方を対象とします。
研究目的 ・方法	遠位胆管閉塞症例における臨床検査項目を使用した、人工知能による良悪性診断能向上の試みを行います。本研究は既存の診療録情報を用いて、150例の臨床検査項目を人工知能の学習データとして使用し、残る50例をテストデータとして使用し外的交差検証を行い、人工知能による遠位胆管閉塞症例の診断能を算出します。
研究期間	承認日 ~ 西暦 2025年3月31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	以下の日常診療で実施された項目を本研究に使用します。 背景情報(年齢、性別、診断名、身長、体重) 既往歴、合併症、血液検査所見、画像所見(CT)、病理組織学的所見
外部への 試料・情報の 提供	上記情報は、主たる研究機関である横浜栄共済病院へパスワードをかけた匿名の電子データ(研究対象者の氏名、イニシャルは本研究の調査項目に含まれず、カルテ番号も収集しません。研究対象者の個人情報とは無関係の記号を付し、一見して個人が特定できないように匿名化したデータのこと)として提供されます。 また、人工知能解析については、愛知がんセンター消化器内科部に委託して行いますが、提供する情報は同じく匿名化した情報となり、個人を特定するものは記載しません。 提供されたデータは、電子媒体で保管する場合は、パスワードを設定した電子ファイルで横浜栄共済病院消化器内科のインターネットに接続できないパソコンで保存します。紙媒体で保管する場合は、施錠のできる保管庫等で保管します。このパソコンや紙媒体が保管されている部屋は、入室が管理されており第三者が立ち入ることはできません。対応表については、当院の責任者が保管・管理をします。 収集したデータは、少なくとも本研究の終了日から5年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から3年後のいずれかの遅い日までの期間、上記方法で厳重に管理します。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	該当しません。

情報公開用文書 (附属病院で実施する医学系研究)

(多施設共同研究用)

研究組織	主たる研究機関 横浜栄共済病院 共同研究機関 横浜市立大学附属病院
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9</p> <p>横浜市立大学附属病院 消化器内科 (研究責任者) 栗田 裕介</p> <p>電話番号：045-787-2800 (代表) FAX：045-784-3546</p> <p>主たる研究機関 横浜栄共済病院 消化器内科 杉本 祐一</p>	